

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年2月25日

事業所名 平谷こども発達クリニック 発達支援室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			参加人数に応じて部屋の選択を行っている	十分なスペースを確保し、コロナ感染対策をに努めている
	2	職員の配置数は適切である	○			参加人数や実施内容に応じて配置している	個別指導・一斉指導ともスムーズに行えるよう配置されている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		スロープを設けている	エレベーターは設置されておらず、階段がやや高めだったり、部屋によっては段差があるため今後改善に努めていきたい
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			活動後に振り返りと次回の内容決定を行う機会を毎回設けている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者の意見に目を通し改善に努めている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページにて公開している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		行っていないので機会があれば実施したい
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			毎週、事例検討や研修会を実施している	
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			児童の支援について、子どもや保護者と面談を行い計画している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			診断時等に評価尺度を用いてアセスメントしている	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			各グループ毎に担当者は話し合いのもとプログラムを作成している	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			児童の学習状況や希望を聞きながらプログラムを考えている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○		長期休暇中は、集団療育の児童も必要に応じて個別指導を行っている	自宅等のできることにする助言は行うが、細やかな課題設定は行っていないため今後検討していく
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			全体での指導の時間と個別に取り組む時間を設定している	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○				

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			毎回の記録とともに今後の支援について話し合い検討している	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			半年に1回面談を行い、活動時には保護者にフィードバックを行い内容の確認も合わせて行っている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている		○			ガイドラインに完全に沿っているとはいえない
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			会議には担当者が参加している	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている		○			休日実施のため多くの連絡はとっていない。必要があれば保護者を通じて情報共有を行う。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	-	-	-		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		就学前から利用している場合は	就学前に利用されていないお子さんについては共有できていない部分もあるため今後努めていく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	-	-	-		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○			他の機関との直接的な連携や交流を増やしていきたい
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○		今後機会があれば行っていきたい
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している			○		ほとんど参加できていないため今後機会があれば参加していきたい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				日々の活動後などにフィードバックの時間を設けている
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○				ペアトレ・保護者会等で情報提供を行っている	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			初回時に説明書や受給者証の説明を行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			相談があれば機会を設け助言・支援を行っている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			定期的に保護者会を開催し、保護者同士の情報共有の場になっている	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している		○		内容に応じて体制を整え周知している	全ての保護者へは周知できていないので事前にしっかり説明するよう心掛ける
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		会報は発行していないが、活動予定やその他連絡はメールでお知らせしている	
	35	個人情報に十分注意している	○			一斉メールなどはBCCを活用するなど気を付けている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている					
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている					
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している					
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている					
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている					
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している					
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている					
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している					